

平成 30 年度団体等活動状況

団体名等	平成 30 年度の活動状況			その他 (諏訪湖に対する思いなど)
	活動の内容及び実施時期	活動への参加者	活動の成果	
信州諏訪農業協同組合	<p>【湖沼の対策】</p> <p>① 諏訪湖岸に打ち上げられたゴミの除去 (1) 下諏訪「環境の日一斉清掃」参加 5月20日(日) (2) 岡谷市「諏訪湖・河川一斉清掃」参加 5月27日(日) (3) 諏訪市「春の全市一斉清掃」参加 5月27日(日) ② 水草等の学習会(座学・稚エビの放流体験)に参加 6月27日 ③ 手作業によるヒシ除去作業 7月2・3日(4日は悪天候で中止) ④ 諏訪湖を綺麗にしちゃいましょう大☆作☆戦 参加者景品を提供(初協賛)</p> <p>【流出水対策】</p> <p>・土壌診断事業による適正施肥の推進(平成30年度実績 1,717点) わたしの肥料による減肥の取り組み拡大(個人単位施肥設計 オリジナル肥料 取扱増) ・ヒシ堆肥 販売(すわこヒシパワー) ・水稻指導会による止め水管理の徹底(肥料・農薬等かけ流し防止) ・環境にやさしい農業への取り組み JA助成(水稻 レス50+カバークロップ) フェロモントラップによる情報発信による適期防除の推進 ・GAPへの取り組み(指導会開催による生産者への理解促進)</p>	<p>【湖沼の対策】</p> <p>① 役職員各 (1) 23名 (2) 45名 (3) 80名 計 148名 ② 職員 1名 ③ 職員 13名</p>	<p>【湖沼の対策】</p> <p>・諏訪湖周に勤務または居住する役職員全員が参加した環境整備によって、きれいな諏訪湖への期待感を組織ぐるみで共有する機会となった。 ・学習会への参加は、かつてのアオコ大発生～過剰なヒシの繁茂に至った変遷を学ぶ機会となり、さらに炎天下の船上でヒシの除去作業に携わった職員は、水質浄化や生態系におよぼす影響といった問題に直接かかわる一助の経験から、誰もが諏訪湖の環境改善をめざす一員になれる自覚を少なからずもつことができた。</p> <p>【流出水対策】</p> <p>・減肥試験実施(セルリー パセリ 肥効調整型肥料の見直し) (見直しによる効果例 セルリー施肥基準) 平成10年 10a当たり成分kg N81.0 P75.0 K32.0 平成20年 " N67.8 P65.6 K35.7 (Nでは83.7%) 平成30年 " N67.0 P66.4 K35.7 ・平成30年より販売開始 水稻新肥料 こがねECO (地域の状況に応じた設計 リン酸減)</p>	
諏訪湖漁業協同組合	【別紙 19】			
下諏訪町諏訪湖浄化推進連絡協議会	<p>1 湖岸清掃:4月～3月(12回) 毎月、下諏訪町内の指定した区域で、諏訪湖岸のごみ拾いを行う。 また、町による町内一斉清掃活動へも協力している。5月、10月</p> <p>2 水辺のごみ調査:4月～11月(7回) 湖岸清掃に合わせて、拾ったごみの種類と量を記録する。</p> <p>3 アレチウリの除去作業:4月～9月(6回) 湖岸清掃に合わせて、侵略的外来種であるアレチウリの除去を行う。</p> <p>4 第4回川ごみサミット in 下諏訪の開催【新規事業】:11月24日、25日 全国の河川・海洋環境保全に取り組む個人や団体が集まり、情報や意見を交換するイベントを、全国川ごみネットワークとともに下諏訪町町制施行125周年記念事業として下諏訪町で開催。</p> <p>5 小学生に対する環境学習:7月10日、8月11日(クリーン祭での清掃)、10月15日 小学生に対する環境学習を実施し、身近な環境について学んでもらう。</p> <p>6 諏訪湖クリーン祭の開催:8月11日 各団体によるブース展示、稚エビの放流、湖上観察会や親と子のボート教室などを通して、参加者が諏訪湖に親しむイベントを開催。</p>	<p>1・2・3 下諏訪町民、湖浄連会員 4 下諏訪町民、湖浄連会員、全国の環境団体等 約130人 5 下諏訪南小学校5年生、6年生 6 下諏訪町民、湖浄連会員等 約250人</p>	<p>1 ごみを拾うことで諏訪湖に漂着したごみが減り、環境及び景観の保持につながった。 【活動実績】可燃物1,420kg、不燃物390kg 計1,810kg(H31.2月現在) 2 諏訪湖のごみの傾向を把握し、今後の浄化活動につなげていくための資料となった。 3 外来種を除去することで在来種を守り、生態系の保全につながった。 4 地元小学生や全国での取組事例の発表を通して、多くの人にごみ問題について考えてもらう機会となった。 5 ごみが環境へ与える影響を学び、実際のごみ拾い体験やグループでのまとめを通して、ごみ問題についての理解を深めてもらった。 6 諏訪湖とふれあうイベントとして定着しており、参加者は楽しみながら諏訪湖に親しんでいる様子であった。開始前には湖岸清掃も行われ、60kgのごみを収集した。</p>	<p>湖浄連では、湖岸清掃を行う際に、拾ったごみの種類と量を記録する「ごみ調査」を実施しており、本年度は、細かなプラスチックごみが6割以上を占めるという結果になりました。大きなごみは少なくなってきましたが、細かなごみはまだあり、このまま放置しておけばマイクロプラスチック化するなどの問題もあることから、引き続き清掃を行いながら、啓発や子どもたちへの環境学習も行っていきたいと思っています。</p>

平成 30 年度団体等活動状況

団体名等	平成 30 年度の活動状況			その他 (諏訪湖に対する思いなど)																								
	活動の内容及び実施時期	活動への参加者	活動の成果																									
諏訪湖クラブ	1)ヒシ除去作業への協力(長野県の設定時期) 2)全国一斉水質調査に参加(世界環境デー6月3日、諏訪湖・天竜川水系30地点を担当) 3)諏訪湖創生ビジョン推進会議事務局に参加、事務局会議に出席(2か月に1回) 4)諏訪湖浄化関連事業:ナノバブルを利用した諏訪湖の浄化実験の実施(平成29年度より継続) 湊沖での実験(H29年8月、H30年7月～8月) 諏訪市なぎさ公園沖(H29年9月～11月、H30年4月) 5)理事会(毎月1回)の開催と年1回の総会開催	1) 2名 2) 7名 3) 事務局会議4名、 諏訪湖通信編集2名 4) 10名(実施時期により若干の違いがある) 5) 理事会は毎回10名前後が出席	1)ヒシの繁殖現状を把握、課題を理解した 2)全国運営委員会に長野県代表として参加、長野県内の水質ネットを運営、約30団体により、358地点での測定を行い、長野県水環境マップを作製した。結果は各地の環境フェアにて公開、参加者の拡大を図っている。 3)毎回の事務局会議で推進会議の運営について意見交換し、毎月発行の「諏訪湖通信」編集に協力、諏訪湖に関わる情報を紹介している 4)湖水の上下循環システムの手法確立とナノバブル利用の有効性、水中カメラによる現場状況確認の有効性、太陽光発電による電源使用時のノウハウを蓄積、現実の諏訪湖浄化への適用課題を整理し、諏訪湖浄化への適用案を作成中 5)理事会は拡大理事会として会員の参加は自由とし、会員以外のお出席もあり、地域の課題等について意見交換を行い、他団体、地域自治体との協働活動への参加を進めている	現在の取り組みの中心は諏訪湖のさらなる浄化への協力として公民協力による浄化活動の推進手法の提案である。 諏訪湖創生ビジョンが掲げている「泳ぎたくなる諏訪湖」実現へ向けての具体的な提案と協働ができることを期待している。 諏訪湖浄化が単なる湖の浄化活動ではなく、諏訪地域のまちづくりの一環として行われることを常に念頭に置いて進めていきたい																								
諏訪湖白鳥の会	<table border="1"> <thead> <tr> <th>活動日</th> <th>活動内容(横河川河口)</th> <th>人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>30.4.22</td> <td>アレチウリ抜き取り、ゴミ拾い</td> <td>6人</td> </tr> <tr> <td>30.5.27</td> <td>草刈り、ゴミ拾い</td> <td>6人</td> </tr> <tr> <td>30.6.24</td> <td>草刈り、ゴミ拾い</td> <td>5人</td> </tr> <tr> <td>30.10.21</td> <td>草刈り、ゴミ拾い</td> <td>5人</td> </tr> <tr> <td>30.10.26</td> <td>草刈り</td> <td>6人(他に県3人、市3人)</td> </tr> <tr> <td>30.11.23</td> <td>草木処分(焼却作業)</td> <td>3人</td> </tr> <tr> <td>30.12.19～</td> <td>白鳥の観察、記録～31.2.21まで</td> <td>毎朝1人</td> </tr> </tbody> </table>	活動日	活動内容(横河川河口)	人数	30.4.22	アレチウリ抜き取り、ゴミ拾い	6人	30.5.27	草刈り、ゴミ拾い	6人	30.6.24	草刈り、ゴミ拾い	5人	30.10.21	草刈り、ゴミ拾い	5人	30.10.26	草刈り	6人(他に県3人、市3人)	30.11.23	草木処分(焼却作業)	3人	30.12.19～	白鳥の観察、記録～31.2.21まで	毎朝1人	左記のとおり	白鳥飛来地の環境整備により、湖岸来訪者に良好な景観を提供できた。	
活動日	活動内容(横河川河口)	人数																										
30.4.22	アレチウリ抜き取り、ゴミ拾い	6人																										
30.5.27	草刈り、ゴミ拾い	6人																										
30.6.24	草刈り、ゴミ拾い	5人																										
30.10.21	草刈り、ゴミ拾い	5人																										
30.10.26	草刈り	6人(他に県3人、市3人)																										
30.11.23	草木処分(焼却作業)	3人																										
30.12.19～	白鳥の観察、記録～31.2.21まで	毎朝1人																										
NPO 法人諏訪市セーリング協会	藻刈り舟を復元し、お披露目会や進水式、藻刈り体験を実施したことによって諏訪湖に対する地域住民の意識の向上と諏訪湖に対する愛着と関心をもって頂いた。 ・関係者を招いてのお披露目会、進水式を実施 ・子どもたちを主体とした藻刈り体験及び乗船会 ・12月2日(日) ヨットハーバーで実施	50名参加	①先人たちが使用していた木造船を復元させた事により地域の交流が生まれた。 ②乗船、体験等復元した旧式木造船を使用したことにより古き良き時代の経過と新たな視線で諏訪湖や街を見つめ直す機会となった。 ③乗船体験し直接水に触れたことで諏訪湖への関心を高めることができた。																									
美サイクル茅野	上川アダプトプログラムに参加し、上川流域の河川清掃及び草刈り等を実施した。 第1回 平成30年4月、第2回 平成30年7月、第3回 平成30年10月	上川アダプトプログラムに登録された市内企業、団体等		諏訪湖及びその周辺のごみが少しでも減少し、きれいな諏訪湖にするための活動を継続していくことが必要であると思います。																								
諏訪地区労働者福祉協議会	2018/01/23 第3回諏訪湖創生「ビジョン会議」地域懇談会 2018/03/09 第11回諏訪湖環境改善行動会議 2018/05/11 「しあわせ信州創造プラン2.0」諏訪湖創生ビジョン説明会 2018/05/28 諏訪湖創生ビジョン推進会議 2018/06/27 諏訪湖創生ビジョン推進会議 水草等の学習会 2018/07/03 諏訪湖創生ビジョン推進会議 ヒシ取り作業 2018/07/13 諏訪湖創生ビジョン推進会議 部会の開催	1名出席 2名出席 2名出席 2名出席 1名出席 2名出席 2名出席																										

平成 30 年度団体等活動状況

団体名等	平成 30 年度の活動状況			その他 (諏訪湖に対する思いなど)
	活動の内容及び実施時期	活動への参加者	活動の成果	
諏訪湖周水路復活漕ぎあるきプロジェクト	○諏訪湖周おもに諏訪市内を流れる中門川・衣の渡川の河川を中心に、カヌー、カヤックの講習会など、水面からの視点で散策や河川のゴミ拾いと共に、水路をかつて小舟が行き来していたころの風情を、漕ぎながら見つめ直す体験を試みて、河川と人々の結びつきをもう一度取り戻せたら河川・湖の関心が高まるのではないかと、活動している。 ○地域振興局主催 ヒシ刈りに参加 ○藻刈り舟復活・進水式にメンバー参加	「諏訪湖周水路復活漕ぎあるきプロジェクト」のメンバーとつつじヶ丘学園の生徒さん、先生。 鴨池川のカヌー体験会 一般の親御さんとお子さんが参加。	○身近な河川で初めてカヌー・カヤックを漕ぐことの楽しさ、また水面から自分たちの街を見て、新たな発見と感動を味わってもらえたと同時に、水ももっとキレイになったら一層楽しいだろうと、水への関心も大いに向けてもらえた。 ○河川の葦や水草に絡んだゴミの回収によって、景観が良くなった。	相変わらず漂流物(空き缶、ペットボトル、ビニール袋など)が湖岸に流れ着いて、決してきれいな状態とはいえない現状です。我々の活動は河川・湖の水面に近いところから、カヤック・カヌーを利用しながら諏訪湖周を見直す視点でもっと多くの人たちに楽しんでほしいと同時に身近の川・湖に愛着をもって接していける環境を河川管理者・行政に提案もしていきたいと思ひます。 どうかその窓口も県には積極的につくっていただきたいと思ひます。
(一社)諏訪観光協会	諏訪湖初日の出号の運行 平成 31 年1月1日 出港6時 50 分 帰港7時 50 分	有料参加者 大人(中学生以上)187 名 小学生 19 名 小学生未満無料の為人数不明 報道及び関係者 約 20 名	上諏訪温泉の宿泊者の方々、諏訪湖周の住民の方々など多数参加。 平成最後の初日の出ということもあり、満員となり、数名お断りする結果となる。	諏訪観光汽船より 2020 年春に新船が就航することが発表される。 また、2019 年中に「竜宮丸」が廃船となる。 については 2020 年、新たな元号での最初の初日の出号は、乗船人員に限られることが想定され、今後関係者との調整が必要になる。 ただし、2020 年春からは、新船が就航するので、新たな諏訪観光の魅力に加わり、当協会としても非常にありがたい。
諏訪湖ロータリークラブ	湖上観察会 第 37 回諏訪湖クリーン祭に合わせ事業を開催 8 月 11 日(日) 諏訪湖の成り立ち・歴史・生物・魚・環境についての話	男子 57 名/女子 90 名 合計 147 名 (小学校) 下諏訪南小、下諏訪北小 神明小、城南小、秀峰中、下諏訪中(1年生 16 名/2年生 9 名/3年生 7 名/4年生 8 名/5年生 7 名/6年生 18 名) (保育園) さくら保育園 砥川保育園 みずべ保育園 県外(年小 4 名/年中 2 名/年長 3 名)	アンケートで成果を検証:アンケート結果をパワーポイントにまとめた。 例) ・諏訪湖の遊覧船に乗った事はありますか? 初めて 2回 3回 4回 ・諏訪湖はこれからどうなってほしいですか? きれいになってほしい このままでいい 何もない ・諏訪湖のどんなことを知りたいですか? 歴史・浄化・魚・水植物その他 ・諏訪湖に関心や興味がありますか? ある・ない	私たちの事業では、子どもたちに諏訪湖に興味を持ってもらいたい、またこの郷土の母なる諏訪湖を未来に向けて残してほしい思いで、諏訪湖の成り立ちや現状を知ってもらおう事業を行っています子どもたちはあまり関心がない。 事業で人を集めることも難しい。 クリーン祭りとのコラボはよかったです。
諏訪商工会議所	1. イベント 諏訪湖まちじゅう芸術祭 2018 2. 会期 平成 30 年 9 月 2 日~9 月 30 日 3. 内容 諏訪湖周にある美術館・博物館による協同イベント 特別展や企画展のほか、各施設でギャラリートークやコンサート、ワークショップ等を行う 4. 目的 諏訪湖周にある美術館・博物館(諏訪湖アートリング協議会)が協同してイベントを実施し、PR と入館者増につなげるとともに、数多くの文化施設が集積する地域特性を活かし、地域内外の誘客へつなげる	諏訪湖まちじゅう芸術祭実行委員会/諏訪湖アートリング協議会	・諏訪湖周に美術館・博物館が集積する地域特性を活かし、地域内外から誘客して観光消費額増を狙い、2005 年より毎年夏季に開催しているイベント。 ・参加者内訳は諏訪地域 60%、県内・県外各 20%、芸術祭参加時の平均支出額は、食事・土産代 5,100 円、宿泊代 12,000 円、その他 2,800 円(H27 参加者アンケートより)。 ・初年度から平成 27 年度まで、期間中 2,000 円で全館を周遊できる共通パスポートを発売し、コアファンを増やしてきた。 ・このイベントを機に平成 23 年に諏訪湖アートリング協議会が発足し、以降、芸術祭をベースに諏訪湖アートリング検定(H26)、児童ポスター展(H28)など協同で取り組み、文化施設の PR を行っている。	

平成 30 年度団体等活動状況

団体名等	平成 30 年度の活動状況			その他 (諏訪湖に対する思いなど)
	活動の内容及び実施時期	活動への参加者	活動の成果	
諏訪森林組合	【流出水対策】 自然地域対策として、諏訪森林組合は間伐を中心とした森林整備業務を 通年で実施しました。	諏訪森林組合の技能職員(12名)と、協力する事業者の方々	除間伐 238ha を実施することができました。	
建設業協会諏訪支部	・河川愛護活動(諏訪湖アダプトプログラム)の実施 平成30年6月、8月、10月 その他、会員企業によるアダプトプログラムの実施 ・諏訪湖創生ビジョン推進会議によるヒシ除去作業への参加(H30 年度新規) 平成30年7月	・河川愛護活動への参加者は25名 ・推進会議によるヒシ除去作業への参加者は3名(H30 年度新規)	・清掃活動等による諏訪湖周辺エリアの美化	
諏訪湖ライオンズクラブ	①2018年8月16日 諏訪湖花火大会後清掃 ヨットハーバー ②2019年2月6日 環境ミニフォーラム	①20名 ②諏訪湖ライオンズクラブ 32名、講師3名、高島小学校児童21名 先生2名 その他ライオンズクラブ 7名、一般の方13名 T OTAL78名	①昨年同様、ゴミの量は変わらないように思えました。ヨットハーバー内に場所取りのためと思われるガムテープが貼られたまま、ブルーシートがゴミと一緒に敷かれたままなど。花火大会後のゴミ問題を悪化させるのも、改善の方向に向かわせるのも、一人ひとりのモラル次第と感じました。この日も朝6時から1時間ほど、清掃活動に汗を流しました ②昨年3月25日に開催した4LC環境フォーラム引き続き、諏訪地域のシンボルであり、かけがえのない宝である『諏訪湖』について、皆が関心を持ち地域一体となって「諏訪湖創生ビジョン」の実現を目指すため、本年度も『未来に残したい美しい諏訪湖』をテーマ環境ミニフォーラムを開催いたしました。 当日は、諏訪地域振興局企画振興課の小口秀昭課長より同ビジョンの報告や、諏訪湖の環境改善に取り組む“諏訪湖クラブ”の沖野会長、諏訪湖周辺でカヌーやカヤックを楽しめる環境づくりを取組む“諏訪湖周水路復活漕ぎあるきプロジェクト”百瀬代表が諏訪湖の現状について報告いただきました。 また、高島小学校6年1組の児童の皆さんが諏訪湖について学び、湖岸の清掃活動や諏訪湖に住む生き物の実態、水質浄化に向けた研究の成果など発表いただきました。 近年、地球温暖化対策や自然環境保全といった様々な環境課題がニュースとして取り上げられている今、ここ諏訪湖でも人と生き物が共存し、自然資源の活用による地域活性化に向けた取組みや、誰もが訪れたい諏訪湖をめざし今後も地域と協働した奉仕活動を行っていきたいと思いました。	諏訪湖周辺の環境保護や産業、生活空間など、さまざまな形で諏訪湖を見つめ、かかわり、寄り添ってきている「いま」、『よみがえれ諏訪湖』を合言葉に、更に地域住民一人一人が浄化に対する意識の高揚をはかり共感してもらうことが、諏訪湖を守る本当の力になると思います。
特定非営利法人 天竜川ゆめ会議	【別紙 20】			
一般社団法人 大昔調査会	○Web版「諏訪地域の縄文遺跡分布図」作成 (諏訪湖底の「曾根遺跡」を含む)	○地図関係データ作成・・・会員10名 ○関連事業・・・諏訪の歴史・考古学講座「すわ大昔フォーラム」 (諏訪市博物館・ふるさと文化を語り継ぐ会と共催、年6回×平均市民70名)	○Web版「諏訪地域の縄文遺跡分布図(第1期分)」の完成・公開(3月末予定)	○諏訪湖の保全や市民による学習に際して、湖底「曾根遺跡」の存在を明確化したい。

平成 30 年度団体等活動状況

団体名等	平成 30 年度の活動状況			その他 (諏訪湖に対する思いなど)
	活動の内容及び実施時期	活動への参加者	活動の成果	
あってもいいな夢工場 湖の驛プロジェクト	<p>①人工渚 水辺づくり(岡谷市湊) 6月3日から毎週日曜日にヘドロ除去作業を7月15日まで行った。 最終日には、マス・うなぎのつかみ取りイベントを行った。</p> <p>②舟通しの調査・研究 10月26日には初の体験乗船会を実施</p> <p>③ミズベリング会議 “湖の驛” 9月2日第1回会議 12月7日第2回会議 議題 ・人工渚水辺づくり活動報告及び次年度計画 ・水辺カフェ誘致、調査、研究 ・諏訪湖ストーリー制作、調査、研究</p>	<p>①岡谷市内・諏訪市・茅野市から10名のボランティアに参加頂いている。 湊地域・花岡区・小坂区からも協力頂く。 7月のイベントには、人工渚に昨年と同じく約100名程の親子で賑わった。</p> <p>②舟通し体験乗船には、花岡区副区长 浜氏、漁業組合理事 浜国夫氏(ボート・運転)長野日報記者 野村氏と私の4名で実行。 釜口水門管理室 城田氏からも全面的に協力頂きました。</p> <p>③ミズベリング会議にはボランティア活動の10名が参加。</p>	<p>子どもの夢を叶えよう！とスタートし3年、ボランティア活動で大人自身が楽しみ喜びに発展し、盛り上がっている。 又、各方面から賛同や励ましの声が寄せられるようになった。 特に人工渚の活用について関心が強まって参りました。</p>	<p>・諏訪湖で水遊びしたい。泳ぎたい…との子供の声が沢山かかれて参りました。今取り組んで いる人工渚から他にも広がってくれればと願っています。 県にはもう一度見直しをし、子どもの夢を叶えられる渚と一緒に取り組んでほしい。</p> <p>・釜口水門の舟通し活用については、今後もご協力をよろしくお願い致します。</p> <p>・江戸時代から明治初期に諏訪湖・天竜川に関連した歴史上の自然、文化、人物が多く存在しておりました。 天竜川の源流には弁天島にまつわる弁財天【湖の神と川の神(竜神)】があり、葛飾北斎の富嶽三十六景からも美しい諏訪湖、弁天島撤去に人生を捧げた伊藤五六郎や天竜川を利用し、水車で電力をまかない発展した養蚕業。広大な諏訪湖の中でも天竜川の果たしてきた役割を私達はまだまだ活かし、守り切れていない現実があります。</p> <p>・神話にまつわる弁財天の存在どころか今や…。この祠の復活を視野に地域の方々に参画頂き、『湖之(うみの)語(かたり)』 諏訪湖ストーリー制作(昔話風)してみたい。</p> <p>・徐々に夢もふくらみ、「諏訪湖創生ビジョン」の一員として将来多くの人々が集う場所、まさに湖の驛プロジェクトとして発展し、日本中、世界中に発信していきたい。</p>
諏訪湖八ヶ岳自転車 活用推進協議会	<p>○継続事業 ・ガイドサイクリングツアーの実施(15回、合計180名参加)</p> <p>○新規事業(元気づくり支援金活用事) ・サイクリングガイド養成講座の開催(10名ガイド認定) ・サイクルスタンドの製作・設置(30件)</p>	<p>協議会メンバー4名 スワヤツサポーター57名 養成講座受講生10名 ガイドツアー参加者180名</p>	<p>・ガイドが自主的にツアーを企画し、諏訪湖周のサイクリングツアー開催回数を増やすことができました。</p> <p>・サイクルスタンドは平成30年中に30件の設置を目標にしており、現在、諏訪大社4社を含む、11件の設置が実現できており、認知度も少しずつ上がってきています。</p>	
株みのり建設 環境事業部	<p>○3～8月 ヒシ堆肥の配布 844袋 ○7～11月 ヒシの堆肥化 受入量 196.92t ○7～10月 ススキ堆肥化 受入量 4.34 ○ヒシと周辺地域の雑草や霧ヶ峰のススキ等の刈草を用い、持続可能な循環型社会の実現に向けた研究を実施</p>	<p>岡谷工業高等学校 ヒシ堆肥制作 諏訪市立高島小学校 ヒシ堆肥制作</p>	<p>諏訪湖の有機物資源の農地還元</p>	